

+

Ballet Seminar

札幌芸術の森バレエセミナー

2010

2010年8月12日(木)~8月20日(金)

札幌芸術の森アートホール

「いつまでも健康な体でバレエを楽しみ、そして表現の手段である安定したテクニックをしっかりと自分のものとするためには、ダンサーが酷使用する〈楽器=身体〉をどのように使えば、無理な負担をかけず痛みや故障を起こさないか」
札幌芸術の森バレエセミナーでは、国際的に活躍する講師の指導のもと、この点を重視した解剖学的アプローチからのレッスンを22年にわたり実践しています。

■ 受講者募集

[通期受講]

2010年8月12日(木)~8月20日(金)

[前期受講]

2010年8月12日(木)~8月15日(日)

[後期受講]

2010年8月17日(火)~8月20日(金)

【※8月16日(月)は休講日】

主催：札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)

協力：株式会社ブラウ、名鉄観光サービス㈱札幌支店

<http://www.plus0.org>

+zero

プロフィール



Jan Nuyts

教師、バレエ学校校長、バレエ・マスターと立場を変えながら20年以上に及ぶ指導者としての活動の中で数多くのダンサーを育て、その成長、発展に貢献している。

ベルギー、アントワープ生まれ。ロイヤルバレエスクール オブ アントワープで、学校創始者であるブラバンツ姉妹に師事。18歳のとき、ヴァルナ国際バレエコンクール、ジュニア部門金メダル受賞。フランダース・ロイヤル・バレエ団、ネザーランド・ダンス・シアター、20世紀バレエ団、サンフランシスコ・バレエ団でソリスト、プリンシパルとして活躍。早くから教授法に興味を抱き、31歳の時、カンヌのロゼラ・ハイタワー・インターナショナル・バレエセンターで教師としてのスタートを切った。その後、モーリス・ベジャールの20世紀バレエ団教師となり、翌年にはその付属バレエ学校、ムドラ・バレエスクールに校長として迎えられ、6年間にわたり数多くの優れたダンサーを育てた。その後、ハンブルグ・バレエ団付属バレエ学校、フランスのトゥール・バレエ団、母校のロイヤルバレエスクール オブ アントワープ、フランス国立リヨン・コンセルヴァトワール、グランド・テアトル・ド・ジュネーブ・バレエ団でバレエマスター、教師を歴任。1999年9月からはネザーランド・ダンス・シアター、モンテカルロ・バレエ団、ロイヤルバレエスクール オブ アントワープなどでゲストティーチャーとして後進の指導にあたった。その後、2005年9月からはベルギー、アントワープのロイヤル・バレエ・オブ・フランダース芸術顧問として活躍した。

ローザンヌ国際バレエコンクールには、1985年(第13回ニューヨーク開催)に審査員として初参加。以来、1997年第25回に至るまでほぼ毎年、ゲストティーチャーとして同コンクールの発展に寄与。同年3月に新体制が敷かれたローザンヌ国際バレエコンクール主催団体「舞踊振興財団」の芸術委員会委員長に就任し、その教育理念に基づいて、同コンクールの改革に着手。「若い才能の育成・助成」を更に徹底させた新生「ローザンヌ国際バレエコンクール」は、国際バレエ界指導者層の絶賛するところとなった。元、同コンクール芸術顧問。

日本には1988年より毎年来日。札幌、宝塚、東京、神戸、横須賀、府中などで開催されたバレエセミナー主任講師として、「ダンサーの身体の理解と保護」を基調とし、空間を凌駕する「動き」と「音楽性」あふれる独自のレッスンで、この22年間日本においてもバレエ教育の改善に力を尽くしている。

メッセージ

バレエとそれを教える者として

私がここに私自身の考えを述べるに至ったのは、皆さんが考え意見を交わすきっかけとなってほしいからであり、私の意見が最終的な結論だと考えるからではありません。なぜなら今、私をはじめ、この世界に聞いている人の全てが大なり小なりこの芸術の行く末を憂いているからです。

すべての創作品、創造物には元となった想像や思想があります。それをここではアイデアと呼びます。ある人物の中でアイデアが生まれ、十分に高められ刺激を受けると、アイデア自体が自発的に活動を始め、動き出すのです。それは、アイデアがその人物の思考の中だけでなく他に見える形で外の世界に存在しようとする衝動なのです。アイデアが姿を現すためには何か形をとる為の有形の材料が必要となります。材料を選び、人がその材料の上で動くこと、つまり作業することによってアイデアはその存在を世界に有形の形で示すことになるのです。この結果を得る為にはアイデアもその材料の上で行われる動き(作業)も、材料自体が持っている法則、あり方を無視することはできないのです。

バレエクラスを訪れる子供たちの殆どはそれこそ壮大な生き生きとした想像力と、動きたい、踊りたいという素晴らしい情熱を持っています。それに比べ、彼らが持っている身体のコントロール能力というのは極めてわずかです。この身体(からだ)こそがダンサーにとっての材料なのです。だからこそ、彼らは私たち、教師の元を訪れるのかもしれませんが。彼らのアイデアを具体化する身体を自分でコントロールできるようになる為の手助けを期待して。もちろん、他の理由もあるのでしょう。何か、私たち教師が彼ら生徒に渡し忘れていたものを求めているのかもしれませんが。

私は次の2つの考え方を基礎としてバレエを教えることが出来ると思います。

1つ目の考え方をAとします。「A」はますます難しく、複雑になってくるエクササイズ(テクニック)を練習し続けることにより、多大な身体の抵抗があったとしても、生徒たちの身体能力を高める可能性を提供する方法です。それは彼らが踊ることができるテクニックを習得することを可能にします。しかしその結果、もしかしたらほんの少しの空虚さと不満の種を彼らの心に植え付けてしまうかもしれません。この空虚さは時間を重ねるにつれ少しずつ育っていきます。もちろん、最初は素晴らしいテクニック(妙技)を可能にする身体能力を習得したことに多大な満足を感じます。ですがやがて、その身体能力による自己との一体感は、まるで熟練工の仕事のようになり、それを維持することによる満足度はむしろ減っていくでしょう。(これは一定のダンサーの行動から説明することが出来ますが、違う話になってしまうのでここでは避けます。)

2つ目の考え方を「B」とします。この方法は子供たちの想像力を刺激、呼び覚まし、彼らの年齢と成長にあわせた思考、想像を通じて教える方法です。私たち教師は、子供たちに彼ら自身が持つ身体が動くときの感覚を見つけることを手助けします。さらには空間と自分との関係性の感じ方、身体の中から湧き上がるエネルギーな活動力や、彼ら自身が持つリズム感と音楽性も見つけていきます。これらは全て、子供たちに期待されるバレエという形式を体現化するために必要であり、彼らはこれらを自分自身の中に見つけ、関連性を持たせ、コントロールできるようにならなければならないのです。そして身体がダンサーにとっての材料である以上、その材料が持っている規則性、すなわち関節と筋肉の働きを教える必要があります。そしてそれらがバレエテクニックの中でどのように機能するかを実際に彼らが体験できる動きを行う事で理解を進めます。ですので、あまりに早くからバレエポジションの形にはめ込んで教え込むことは逆効果です。その後、例えば彼らが「A」と同じメソッドでテクニックを習得していったとしても、彼らは常に自分自身の中にある想像力を信じ、身体を動かすエネルギーな活動を先に起こし、探していた形(バレエテクニック)を新たに自分のものとして行うことができるようになります。

さらに2つ目の「B」の考え方には他の利点もあります。「B」の教育を受けた若いダンサーが、新しいテクニック、新しいダンスのスタイルに取り組む時、彼らは自分自身の動きの感覚、感性により、他人の動きを捉えることが出来ます。そのため彼らは自分たちが実行することを要求されている形を、どのように動けば可能なか容易に感じ、理解することが出来ます。結果として、形、身体のポジションから取り組んでいくダンサーと比べはるかに容易に新しいテクニックを習得することができるのです。

どちらの考え方に基いて教えるにしても、私たち教師は材料、すなわち身体の機能を正しく理解することが大切になります。特に2つ目の考え方を実行する為には不可欠な知識となります。身体の解剖学的な整理を損なった場合、それらの緊張や硬さは身体の内側から湧き起こる動きとしてのエネルギーの活動を妨げ、結果としてエネルギーはバレエテクニックを具現化するための動きを身体上にもたらすことができなくなるのです。

最後に、どちらの取り組み方も芸術的な結果をもたらすことでしよう。しかし、私は誰もが次の2つを混乱することなく見分けることが出来ること信じています。卓越した身体能力を持つ、まるで彫刻のような身体に、ある特定の役割が要求する感情を上乗せした踊りと、ダンサー自身の豊かな想像力と活動的で様々な色合いを持った彼自身のエネルギーの動きが材料である身体を通して目の前に生み出される踊りとを、果たして誰が混同するでしょう。

踊り、ダンスの世界というのは、動くこと、踊ることを愛し、あふれ出るさまざまなアイデアが、さまざまな身体の動き、形をとって目の前で生み出されていく素晴らしい芸術の一分野、家族です。人間には重力に逆らい、垂直に動くことができる能力が自然に備わっています。そして重力を楽しみながら水平に動くことも可能です。私たちはこの考えに基づきダンスの家族を違うグループに区分けしています。例えばクラシックバレエとコンテンポラリーといったように。それぞれのグループの特徴を考えると、結果として現れた形、ポジションを考えるのではなく、その形、スタイルを生み出した元のアイデアに思いをめぐらせてみましょう。そうすることで、私たちはそれぞれのグループを相互により理解し、それによってダンスという一つの家族を作り上げます。このような理解がそれぞれのグループの特性を尊重し、どのような過程を通してひとつのアイデアがある一定の動きと形式を持つことになったのかに興味を持つことが出来るのです。

次の事は私が教師として生徒たちと接していくうちに思い至ったことです。

- 教師は生徒に対し3つの方法で接することができます。
- 生徒が生まれ持った遺伝子により、「あなたはこうである」と決める。
- 生徒自身がまるで真っ白のページのようにまだ何も持っていないため、「あなたはこうする」と決める。
- 生徒自身が内包している存在を認め、自分に対しても世界に対してもそれを明らかにしようとする挑戦を「私はそれを手助けする為にここに」と伝える。

最初の2つの考え方に基いた教師の行動は、3つ目の考え方が基本にあった上でならば、かろうじて認めることができるかもしれません。

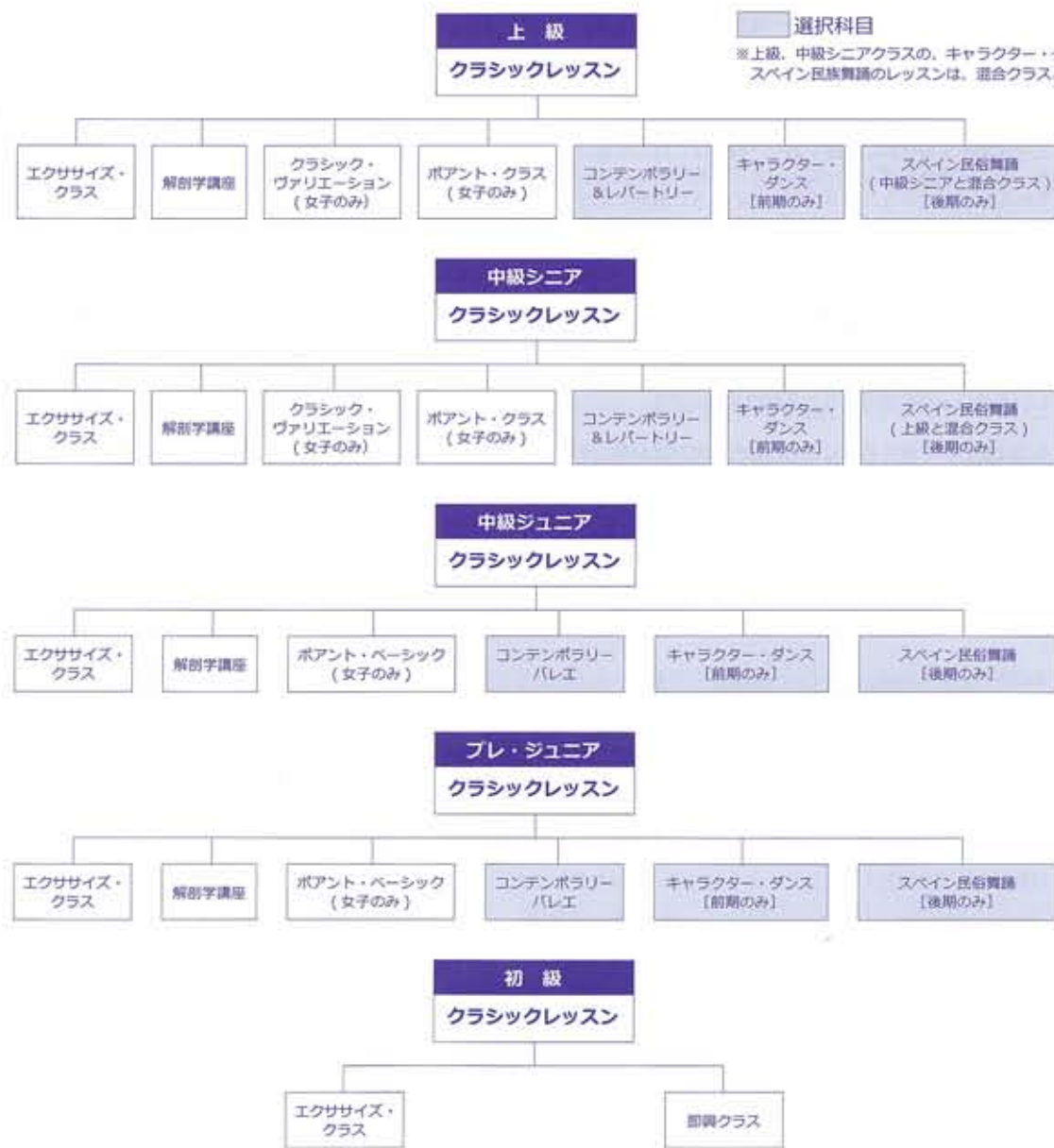
他人の真似をしないで、自らのものとして生み直して下さい。あなたの身体はあなた自身の魂を表す為の材料なのですから。

札幌芸術の森バレエセミナーについて

1988年から続いております本セミナーは、2005年より札幌芸術の森単独開催となりました。これまでこのセミナーから学んだ生徒が、世界へと羽ばたいております。今回も、主任講師ヤン・ヌイツの教育理念「解剖学的アプローチによるダンサーの身体保護と正しい使い方」「舞踊表現に不可欠な“音”と“空間”に対する意識の向上」を中心に、バレエ総合教育を目指した多角的なカリキュラムをコンセプトに、更なる発展を目指していきます。

- 趣 旨**
- 身体に過度な負担をかけず、怪我や故障を未然に防ぐレッスン方法の普及を図っています。レッスンを続けている皆さんが、いつまでも健康な身体でバレエを楽しみ、芸術性を高めていただくことが目標です。ダンサーが酷使する楽器＝身体をどのように使えば、身体に無理な負担をかけず、痛みや故障を起こさないのか。表現の手段である安定したテクニックをしっかりと自分のものに出来るのか。それを学び、知るための機会が札幌芸術の森バレエセミナーです。
 - 異なったスタイルのダンスを学ぶ機会を提供しています。世界の主要バレエ団では、クラシック作品と並んで数多くの現代作品が上演されている今日、バレエダンサーにはクラシックのみならず多様な表現、テクニックが求められています。また、クラシック作品では、民俗舞踊をアレンジした振付が多く見られます。他のテクニック、表現を学ぶことで、より自由な身体の使い方、幅広い表現力がつくと同時に、クラシックの上達にも大変効果的です。

札幌芸術の森バレエセミナーでは、このように多彩なダンスを体験でき、学ぶことができます。



札幌芸術の森バレエセミナー 2010

期間：通期 2010年8月12日(木)～8月20日(金)
前期 2010年8月12日(木)～8月15日(日) / 後期 2010年8月17日(火)～8月20日(金)
会場：札幌芸術の森 アートホール

必修クラス レッスンスケジュールにより講師が変更となる場合があります。
※エクササイズクラスは、郷路奏子、野田香織、岩部純子のいずれか1名が担当します。

上級クラス ……………

内 容	講 師
クラシック	ヤン・ヌイツ
エクササイズ	※
解剖学	フランシス・ウエイツ
クラシック・ヴァリエーション (女子のみ)	吉田 都
ポアント (女子のみ)	クリスティアーヌ・マルション

対象/解剖学を受講したことのあるバレエ経験6年以上/中学3年生以上
定員/前後期とも25名

中級シニアクラス ……………
(2クラス)

内 容	講 師
クラシック	ヤン・ヌイツ/クリスティアーヌ・マルション
エクササイズ	※
解剖学	フランシス・ウエイツ
クラシック・ヴァリエーション (女子のみ)	吉田 都
ポアント (女子のみ)	クリスティアーヌ・マルション

対象/バレエ経験6年以上/中学2年生以上
定員/前後期とも1クラス25名

中級ジュニアクラス ……………
(2クラス)

内 容	講 師
クラシック	クリスティアーヌ・マルション/キミー・ロウエンス
エクササイズ	※
解剖学	六車 龍也
ポアントベーシック (女子のみ)	キミー・ロウエンス

対象/バレエ経験4年以上/中学1年生以上
定員/前後期とも1クラス25名

プレ・ジュニアクラス ……………

内 容	講 師
クラシック	キミー・ロウエンス
エクササイズ	※
解剖学	六車 龍也
ポアントベーシック (女子のみ)	キミー・ロウエンス

対象/バレエ経験3年以上/小学5～6年生
定員/前後期とも25名

注1: ポアントをはいのレッスンは、11才以上となりますが、10才以下の方にも対応する内容で行います。

初級クラス ……………

内 容	講 師
クラシック	キミー・ロウエンス
即興クラス	キミー・ロウエンス
エクササイズ	※

対象/バレエ経験1年以上/小学3～4年生
定員/前後期とも20名

指導者 I (前期) ……………

内 容	講 師
クラシック座学	ヤン・ヌイツ
エクササイズ	郷路 奏子
解剖学	フランシス・ウエイツ
キャラクターダンス	鈴木 未央

対象/バレエ指導者・助教の方々または指導者を担当する上級ダンサーで当セミナー指導者クラス受講もしくは受講歴1回の方
定員/25名

指導者 II (後期) ……………

内 容	講 師
クラシック座学	ヤン・ヌイツ
エクササイズ	郷路 奏子
解剖学	フランシス・ウエイツ
スペイン民俗舞踊	エヴァ・モレノ

対象/バレエ指導者・助教の方々または指導者を担当する上級ダンサーで当セミナー指導者クラス受講歴2回以上の方
定員/25名

札幌芸術の森バレエセミナー 2010

各レッスンの内容

●解剖学講座

頭の前から足の先端まで、つながりを持つ筋肉や関節の動きを説明しながら、故障やケガを伴わない身体の使い方、ケガの応急処置、またダンサーとして不可欠な日常の健康管理について指導します。

●エクササイズ

「クラシック・レッスン」で受けた指導、「解剖学講座」で学んだことを自分で実践するためには、ダンサーとして必要な筋肉を意識して使えるように、日常的な身体作りを心掛けなければなりません。この「エクササイズ・クラス」では、『ダンサーの身体作りのためのトレーニング』方法を、バレエセミナー期間中だけでなく、日常的に続けられるよう指導します。

●ポアント・ベーシック

ポアントをはいてのエクササイズは、骨の成長期を考慮し、十分に筋肉作りができた11～12歳からというのが、欧米一流バレエ学校の考え方ですが、当セミナーでもこの考え方を共有しており、ポアントをはいてのレッスンは11歳以上としております。但し、プレ・ジュニアクラスでは10歳の方の受講もあり、レッスンではおはき履けないこととなりますが、ポアントに対する正しい知識を習得する重要なレッスンとなります。

●即興クラス

教えられたように動くだけではなく、音やイメージに誘われた子供達からは自由で生き生きとした動きが生まれます。遊び心を楽しみ、クラシックレッスンの枠を超えて、何より「踊る喜び」と「自発性」を育てることを目的としています。

●クラシック・ヴァリエーション

クラシック・ヴァリエーションを踊るためには、まず物語、場面、役柄への理解を深めなければなりません。現在も、日本国内外で活躍している吉田都が、豊富な舞台経験を基に自らが数多く演じたヴァリエーションの指導を行います。

●コンテンポラリーバレエ

今日のバレエダンサーには、クラシックのテクニックや表現力ではなく、現代的な作品を踊りこなす能力もあわせて求められています。また、クラシックだけではなく、コンテンポラリーを学ぶことは相互に良い影響を与え、表現の幅を広げます。クラシックバレエの動きを基調とし、音に対する感性とイメージーションを養いながら、より自由な舞踊表現を指導します。

●レパトリー

一人の振り付けが創ったとは思えないほど多彩な作品を生み出している世界的振付家イリ・キリアン。イリ・キリアンのもとで7年間踊り、Nederlands Dans Theatre1で活躍し、ダンス講師、作品創作活動を幅広く行い国内外で活躍している小尻健太が指導。イリ・キリアンの作品の抜粋をレッスンしながら、その独特の動きと意図に挑戦するクラス。

●キャラクター・ダンス

民俗音楽の魂から生まれたこの舞踊は、アレンジされ、代表的なバレエ作品の中に散りばめられています。また、バレエのステップのいくつかはこの民俗舞踊から発しています。このクラスでは、どんなスタイルの踊りにも欠かさない、リズム感とコーディネーション(頭、手、つま先などの身体全体の様々な動きを調和させる能力)を養い、アンサンブルの妙を通して踊る喜びを再発見します。踊りの原点ともいえるキャラクター・ダンスの習得は、クラシック教育にとって不可欠なことから、国際的バレエ学校のカリキュラムでは幼年クラスから必ず取り入れられています。ロシア国内バレエコンクールの審査員を務めるなど、国内外問わず高い評価を受け活躍し、熊川哲也氏の率いるプロを目指す子供を育成するKバレエスクールにてキャラクター・ダンスを指導している鈴木未央によるクラス。

●スペイン民俗舞踊

「コンテンポラリー・ダンス」同様、今日のバレエダンサーには様々なスタイルのダンスを踊りこなす能力が求められています。「スペイン民俗舞踊」では、ダンサーとしてのテクニックをより高めていくことを目指します。

●フラメンコ

スペイン伝統舞踊のひとつ。リズムがすべての動きの基礎となっています。手と腕をたくさん動かしますが、とりわけ足の練習が大切です。足でタップを踏み、様々な音を出すことができ、さらに表現を加えることのできるとても感情豊かで魅力的なダンスです。

●スティリザシオン

これはフラメンコのひとつですが、さらに伸ばした動きのあるものです。リズムよりも動き(様式)の美しさを重視します。

●スペイン古典舞踊

旋回(ビルエット)や跳躍といった伝統的な技術をさらに使います。フラメンコのリズムと表現を学びます。

●カスターネット講座

まずはその場でたたいてみることから学び始め、次に小さな動きを付けながら鳴らし、最後には踊りながら鳴らすことを目標とします。

選択クラス

コンテンポラリー&レパトリー

対象	上級 中級シニア
定員	各クラス25名
講師	小尻健太

キャラクター・ダンス(前期のみ)

対象	上級・中級シニア(混合クラス) 中級ジュニア
定員	各クラス25名
講師	鈴木未央

コンテンポラリー・バレエ

対象	中級ジュニア プレ・ジュニア
定員	各クラス25名
講師	小尻健太

スペイン民俗舞踊(後期のみ)

対象	上級・中級シニア(混合クラス) 中級ジュニア
定員	各クラス25名
講師	エヴァ・モレノ

特別クラス

※レッスンスケジュールにより、開設しない場合がございます。予めご了承下さい。

アドバイス・タイム(プライベート・カウンセリング)予約制

受講対象者 本バレエセミナー受講生もしくは受講歴のある指導者の生徒

講師 ●フランス・ウエイツ/上級クラス、中級シニア
●六車龍也 /中級ジュニア、プレジュニア、初級

ダンサーが長年抱えている身体の故障やテクニック上の問題などの原因を解明し、今後の改善策、予防策を個人的にカウンセリングする時間(1回45分)。受講生の指導者、ご家族の同伴をお勧めいたします。カウンセリングをご希望の方には、相談内容を事前に把握するための質問票をお送りいたします。質問票にご相談の内容を明記し、ご返送下さい。また、カウンセリング当日は、患部のレントゲン写真をご持参下さい。

保護者のための解剖学入門(定員:前後期各20名)

受講対象者 受講生のご家族・指導者

講師 ●フランス・ウエイツ

本バレエセミナーの趣旨を具体的にご家族、指導者の皆様にもご理解頂くことを目的に開設致します。より内容の理解を深めていただくために2日間にわたる講座となっております。

レッスン見学について

<受講生の見学>

受講生は、無料でレッスンを見学することができます。但し、『初級クラスのレッスン』・『指導者クラスのレッスン』は見学不可とします。また、見学できる会場は、アリーナ・大練習室のみとします。

<一般見学>

レッスンを有料にてご見学頂けます。見学頂けるレッスン内容につきましては、受講生の申込状況により決定致しますので、スケジュールを確認のうえ、当日受付までお申し出下さい。受付後、見学パスをお渡しします。

大人	1日券	¥2,000
	4日券	¥6,000
小人 (高校生以下)	1日券	¥1,000
	4日券	¥3,000

※1 スタジオの広さや講師の判断により、見学をご遠慮頂く場合がございます。予めご了承下さい。
※2 レッスン中は写真撮影(携帯電話による撮影含む)・録音および録音は固くお断り致します。
※3 レッスンの妨げになる場合がございますので、小さなお子様の見学はご遠慮下さい。

クラシック・ヴァリエーションにつきましては、一般・及び受講生の見学も全て不可とさせていただきます。ご了承ください。

クラス分けについて

■「中級シニア」「中級ジュニア」の2クラスを設けている場合のクラス分けは、お申込締切後の状況により、年齢の順もしくは、通期受講と半期受講によりI・IIといたします。

■「上級クラス」は、解剖学的アプローチによるレッスンについて、ある程度ご理解いただいている方を対象としていますので、「中級シニア」に比べ、初歩的な説明は少なくなります。初めて当セミナーにご参加の方は、正しい筋肉・身体の使い方をより良くご理解いただくために、「中級シニア」の受講をお勧めいたします。また、レッスン開始後、担当講師の判断により、クラス変更をお願いする場合がございますので、予めご了承下さい。

受講料一覧

	時間	通期受講		半期受講 (前期もしくは後期)		
		回数	受講料	回数	受講料	
■ 上級クラス						
必修	クラシック・レッスン	120分	8回	女子 ¥165,000 男子 ¥145,000	4回	女子 ¥93,000 男子 ¥85,000
	エクササイズ・クラス	60分	6回		3回	
	解剖学講座	60分	4回		4回	
	ポアント・クラス (女子のみ)	60分	4回		2回	
	クラシック・ヴァリエーション (女子のみ)	90分	8回		4回	
選択	コンテンポラリー&レパトリー	90分	8回	¥58,000	4回	¥30,000
	キャラクター・ダンス (前期のみ)	90分			4回	¥30,000
	スペイン民俗舞踊 (後期のみ)	90分			4回	¥30,000
■ 中級シニアクラス						
必修	クラシック・レッスン	120分	8回	女子 ¥160,000 男子 ¥140,000	4回	女子 ¥90,000 男子 ¥82,000
	エクササイズ・クラス	60分	6回		3回	
	解剖学講座	60分	4回		4回	
	ポアント・クラス (女子のみ)	60分	4回		2回	
	クラシック・ヴァリエーション (女子のみ)	90分	8回		4回	
選択	コンテンポラリー&レパトリー	90分	8回	¥58,000	4回	¥30,000
	キャラクター・ダンス (前期のみ)	90分			4回	¥30,000
	スペイン民俗舞踊 (後期のみ)	90分			4回	¥30,000
■ 中級ジュニアクラス						
必修	クラシック・レッスン	90分	8回	女子 ¥100,000 男子 ¥86,000	4回	女子 ¥55,000 男子 ¥48,000
	エクササイズ・クラス	60分	6回		3回	
	解剖学講座	60分	3回		3回	
	ポアント・ベーシック (女子のみ)	60分	4回		2回	
選択	コンテンポラリー・バレエ	90分	8回	¥58,000	4回	¥30,000
	キャラクター・ダンス (前期のみ)	90分			4回	¥30,000
	スペイン民俗舞踊 (後期のみ)	90分			4回	¥30,000

■ プレ・ジュニアクラス

	時間	通期受講		半期受講 (前期もしくは後期)		
		回数	受講料	回数	受講料	
必修	クラシック・レッスン	90分	8回	女子 ¥99,000 男子 ¥84,000	4回	女子 ¥54,000 男子 ¥47,000
	エクササイズ・クラス	60分	6回		3回	
	解剖学講座	60分	3回		3回	
	ポアント・ベーシック (女子のみ)	60分	4回		2回	
選択	コンテンポラリー・バレエ	90分	8回	¥58,000	4回	¥30,000
	キャラクター・ダンス (前期のみ)	90分			4回	¥30,000
	スペイン民族舞踊 (後期のみ)	90分			4回	¥30,000
■ 初級クラス						
必修のみ	クラシック・レッスン	90分	8回	¥105,000	4回	¥55,000
	エクササイズ・クラス	60分	4回		4回	
	即興クラス	30分	4回		2回	
■ 指導者 I (前期) / 指導者 II (後期)						
必修のみ	クラシック・座学 (前期) / レッスン (後期)	90分			4回	¥90,000
	エクササイズ・クラス	60分			4回	
	解剖学講座	60分			4回	
	キャラクター・ダンス (前期のみ)	90分			4回	
	スペイン民俗舞踊 (後期のみ)	90分			4回	

※通期受講の方、解剖学講座受講は前期のみとなります。

■ 特別クラス (予定) 開講の有無については、別途お知らせします

保護者のための解剖学	60分	2回	¥6,000
アドバイス・タイム (プライベート・カウンセリング) フランシス・ウエイツ	45分	1回	¥10,000
アドバイス・タイム (プライベート・カウンセリング) 六車 龍也			¥7,000

受講申込について

別添の受講申込書に必要事項を記入の上、指定の4種類のポーズ写真(裏面に氏名・受講クラスを明記)を同封して、下記の「札幌芸術の森バレエセミナー事務局」宛てにお送りください。

お電話やファクシミリによるお申込はお受けできませんのでご注意ください。

送付書類

- ① 受講申込書 (顔写真添付: 全員)
 - ② 指定ポーズ写真 4点 (指導者クラス受講の方は顔写真のみ)
- ※コンクール受賞歴がある方は、履歴を必ず同封して下さい。(書式自由)

■ 指定ポーズ

- 1) 全身 (正面でまっすぐ立っている姿勢)
- 2) デベロッパ・ア・ラ・スゴンド
- 3) パッセ
- 4) アラベスク

申込書に関してのご注意

※複数でお申込の場合は、申込書をコピーしてご利用ください。(拡大・縮小はご遠慮下さい)
 ※ご記入いただいた申込書を1部コピー、ご自分の控えとしてお手元に保管されることをお勧めします。
 ※顔写真は正面で6ヶ月以内に撮影したものをお願いします。(スナップ写真の切り抜き可)

ポーズ写真に関してのご注意

※写真裏面に氏名と必修クラスを明記してください。
 ※サービス判(13×10cm以内)でモノクロ・カラーいずれも可。
 ※レオタードなど身体のラインがはっきり見える稽古着を着用してください。
 ※トウシューズ、バレエシューズのどちらでも構いません。足先が切れないよう撮影してください。
 ※写真スタジオで撮る必要はありません。ご自宅・稽古場でのスナップ写真で構いません。
 ※初級クラスの方は全身写真1枚のみで結構です。

申込締切日

余裕を持ってお早めにお送りくださいますようお願いいたします。

2010年5月14日(金) 必着

受講受付確認

受講に関するお知らせおよび受講料のご案内は、申込締切日以降にお送りいたします。
 お申込の状況により、クラス分やスケジュール調整に2週間程度の日数がかかります。
 6月1日(火)を過ぎましても案内が届かない場合は、下記事務局までご連絡下さい。

受講申込・問い合わせ先

〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75
 札幌芸術の森 事業課内
 札幌芸術の森バレエセミナー事務局
 TEL 011-592-4125 FAX 011-592-4120
 公式ホームページ(プラスゼロ) www.plus0.org

お申込数が定員をはるかに上回った場合、①通期受講(8日間)②選択クラス受講者の順で優先させていただきます。

定員数をはるかに上回るお申込をいただいた場合には、ポーズ写真をもとに担当講師の判断を仰ぎ、お申込とは別のクラスの受講をお勧めする場合がございます。クラス分につきましても、前回申込いただいたときと異なる場合がございますのであらかじめご了承下さい。最終的には、レッスン開始後改めて担当講師が判断いたします。大変恐縮ではございますが、本バレエセミナーの趣旨をご理解の上、ご了解下さいますようお願い申し上げます。

講師のご紹介 instructor

ヤン・ヌイツ *Yan Nuyts*

(P2をご参照ください)

上級・中級シニアクラス/クラシック・レッスン、指導者クラス担当

クリスティアーヌ・マルション *Christiane Marchant*

中級シニア・中級ジュニアクラス/クラシック・レッスン、上級・中級シニアクラス/ポアント担当



ベルギーのヴェルヴィエに生まれ、その地でダンスの勉強を始める。
 その後ブリュッセルのモネ王位コンセルヴァトワールで学ぶ。
 1977年モーリス・ベジャール 20世紀バレエ団に入団。
 1980年から1985年まではジョン・ノイマイヤー率いるハンブルグ・バレエ団で踊り、
 1987年広報宣伝部門のアシスタントになる。
 1989年トルーマン・フィネと共にアメリカのハートフォード・バレエ学校で指導者として務め、同様にスタンレイ・ウィリアムズと共にスクール・オブ・アメリカン・バレエでも指導した。
 また、ハートフォード・バレエ団ではゲスト・ティーチャーも務めた。
 1993年にドレスデン・バレエ団、1999年にハンブルグ・バレエ団、2003年にモンテカルロ・バレエ団、
 2004年にフィレンツェ・マッジョダンツァ・バレエ団、そして2005年8月からはベルギー王立フランダース・バレエ団にてバレエミストレスとして参加。さらにシュツットガルト・バレエ団、モンテカルロ・バレエ団、アテルバレエ団、ノーザン・バレエ団、ミラノ・スカラ座バレエ団、ウィーン・オペラ座、デンマーク・ロイヤル・バレエ団、スウェーデン王立バレエ団、マッジョダンツァ・バレエ団、ベジャール・バレエ・ローザンヌなど数多くのバレエ団でゲスト・ティーチャーを務めるとともに、イタリア・スペイン・日本の様々なセミナーにて、教師としての活躍も目覚ましいものがある。
 また、ミラノ・スカラ座バレエ団にてジョン・ノイマイヤー振付「ダフニスとクロエ」を、そしてウィーン・オペラ座では「モーツァルトと”お気に召すまま”のテーマ」を再演の際に、主役のダンス指導を担当した。
 ジョン・ノイマイヤー、グレン・テトリ、ウーヴェ・ショルツ、ナタリア・マカロヴァ、ジョージ・バランシン、ウィリアム・フォーサイス、クリストファー・ウィードン等、数多くの作品の振り付けアシスタントとしても活躍してきた。さらに、イタリア語、フランス語の翻訳家としても活躍をしている。

キミー・ロウエンス *Kimmy Lauwens*

中級ジュニア・プレジュニア・初級クラス/クラシック・レッスン、中級ジュニア・プレジュニア/ポアントベーシック担当



韓国・ソウルに生まれる。ロイヤルバレエスクール オブ アントワープでジョス・ブラバンツに師事。
 1987年、同校を卒業してすぐにロイヤル・フランダース・バレエ団に入団。
 翌年1988年にスイスのバーゼル・バレエ団に移り、4年間準ソリストとして活躍。
 1992年にはアントワープに戻り、ダンス教授法高等研究所に入学し、指導者資格を取得。
 1993年から母校のロイヤルバレエスクール オブ アントワープの教師に就任。
 解剖学的にかなった教授法を追求し、ストレッチ方法、リトミックなどを取り入れた独自のクラスで高い評価を得た。
 2003年より同校芸術監督に就任。
 オランダ、ドイツ、エストニア、中国、日本にて、多くの特別公演の監修を行うと同時に、国際ダンスコンペティションの特別講師、審査員としても幅広い活躍をしている。

講師のご紹介 instructor

吉田 都 *Miyako Yoshida*

上級・中級シニアクラス/クラシック・ヴァリエーション担当



撮影：西岡 潔

1983年、ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞を受賞し、同年、英国ロイヤルバレエ学校に留学。1984年、芸術監督ピーターライトに認められ、サドラーズウェルズロイヤルバレエ団（現パーミンガムロイヤルバレエ団）に入団。1988年最高位のプリンシパルに昇格。1989年、「グローバル賞」受賞。1991年、英国のダンス専門誌「Dance&Dancers」の人気投票でダンサー・オブ・ザ・イヤーに選ばれる。1992年、ローザンヌ国際バレエコンクール審査員を務める。1995年、英国ロイヤルバレエ団にプリンシパルとして移籍し、同年、「中川鋭之助賞」受賞。1996年、「橋秋子賞」受賞。1997年、文化庁「芸術選奨文部大臣新人賞」受賞し、新国立劇場の柿落として「眠れる森の美女」のオーロラ姫を踊る。1998年「服部千恵子賞」受賞。2001年、文化庁「芸術選奨文部科学大臣賞」受賞。2002年、「橋秋子特別賞」を受賞。2004年、バレリーナとしての功績とともに、チャリティ活動を通しての社会貢献が認められ、「ユネスコ平和芸術家」に任命される。天皇、皇后両陛下臨席のもと、新国立劇場にて新演出、「ライモンダ」を踊る。同年、東京新聞主催「舞踊芸術賞」受賞。2006年、Kバレエカンパニーへ移籍。2007年、英国批評家協会より英国最優秀女性ダンサー賞、日英協会ジャパンソサエティアワード受賞。同年、紫綬褒章、大英帝国勲章（OBE）受章。2010年4月より神戸女学院大学 特別客員教授を務める。現在、バレエ公演の他、様々な方面に活動の場を広げている。確かなテクニックと音楽性、愛らしい容姿で、英国でも日本でも抜群の人気を誇る。日本が生んだ世界最高峰のバレリーナのひとり。

フランシス・ウエイツ *Francis Weitz*

上級・中級シニア・指導者クラス/解剖学講座担当



筋肉セラピスト、整骨師。故郷のベルギー、アントワープに自分の治療院をもつ。体操、アクロバットでの長年の経験、多くの劇場関係者との交流を通して、体を駆使する人間の「身体運動」に深い興味を抱き、アントワープ物理療法高等学校卒業後もマニュアル・セラピー、整骨治療、筋肉連鎖治療を修得。この間、プロのスポーツ選手、ダンサー、俳優、歌手などの身体運動の分析、研究を続け、今日、「身体運動の分析家」として知られている。ウィリアム・フォーサイスのフランクフルト・バレエ団、ピナ・バウシュのヴッパータール市立舞踊団、ヤン・ファーブル・ダンスカンパニーを初め、欧米のバレエ学校、バレエ団、演劇学校にトレーナー、講師として招かれ、身体・健康管理の指導にあたり、優れた成果をあげている。1995年に初来日。「ダンサーのための解剖学講座」、「指導者のための解剖学講座」、ダンサー個人の相談に応じる「アドバイス・タイム」を担当。マッサージ、テーピング等の実習を盛り込んだ解剖学講座などを通して、一見難解な人間の身体機能への興味と関心を日本のダンサー、指導者層に呼び起こし、大きな反響を得ている。現在、アントワープのバレエ学校、コンテンポラリー学校の生徒に対し、健康維持の指導にあたり、物理療法家として活躍をしている。

エヴァ・モレノ *Eva Moreno*

スペイン民族舞踊担当（後期のみ）



バヤドリード市のフラメンコ教師・マリエンマのもとでスペイン舞踊を学び、1983年、マドリードの演劇・ダンス芸術院に入学、翌年、最高位の席次で卒業し、同時に指導者の資格を得る。1985年より、クラシック、コンテンポラリー、フラメンコ等数々の舞台に出演。エクトル・サラスベ、ホルヘ・マレス、カルメン・ロッシュ、カール・パリス、シロ、メルシュ・エスメラルダ、マダレナといった数々の人物に師事する。その後、カンパニー「アントロギア・ド・ラ・サルスエラ」に入団、さらにホセ・グラネロ率いるプロダクション「ボレロ」にダンサーとして招かれる。1988年、ラファエル・アギラール率いるスペイン・バレエ・シアターに、ソリストとして入団する。また、バレエ「イェルマ」やオペラ「カルメン」にて、スペイン国内のみならずフランスやイタリアをツアーで回る。1990年、スペイン・バレエ・シアターのトップダンサーに任命され、アントニオ・ガデス製作、ラファエル・アギラール振付による作品「エル・ランゴ」（ガルシア・ロルカ原作）の娘役を演じた。1992年4月には「カルメン」の日本ツアーにおいて、主人公カルメン役を演じた。1997年から、ロイヤルバレエスクール オブ アントワープにて、スペイン民俗舞踊の教授を務めている。

小尻 健太 *Kojiri Kenta*

コンテンポラリー&レパートリー、コンテンポラリーバレエ担当



photo: Joris-Jan-Bos

1999年、第27回ローザンヌ国際バレエコンクールでプロフェッショナル・スカラシップ賞を受賞し、高校卒業後、渡仏。モナコ公国モンテカルロバレエ団にて研修、2000年より正団員となる。在籍中にマイヨ、フォーサイス、ゴダーニなどのダンス界をリードする振付家の作品を踊る中、特にイリ・キリアンの創るダンスに魅了され、バレエからコンテンポラリーダンスに興味を見出し、2003年、Nederlands Dans Theater 2 (NDT2、ユースカンパニー)に移籍。2004年、第5回世界バレエ&モダンダンスコンクールに参加しモダンダンス部門にて銅賞を受賞。2006年よりメインカンパニーのNederlands Dans Theater 1 (NDT1)に昇格。2009年のNDT創立50周年記念公演では、イリ・キリアンの新作「Mémoires d'Oubliettes」の主要部を踊る。またヨーロッパで10年間、心と体を通して学んできたこと、そしてヨーロッパの芸術としてのダンスを日本に伝えたいと、ダンサーとしてだけでなく、講演会や大学のゲスト講師、ダンス講師、作品創作など様々な活動にチャレンジしている。http://www.kojiri.jp/

鈴木 未央 *Mio Suzuki*

キャラクター・ダンス担当（前期のみ）



3歳から久富淑子バレエ研究所にて久富淑子氏に師事。札幌で開催された芸術の森バレエセミナー第一回から第三回まで参加し、ヤン・ヌイッツの指導を受ける。スイス短期留学後、90年ロシア国立ノボシビルスクアカデミー入学。在学中、シベリアキャラクターダンスコンクールにて2年連続1位受賞。同バレエ学校卒業と共にロシア国家試験合格・バレリーナのディプロマを取得。1996年から2007年、ロシア国立ノボシビルスクオペラ・バレエ団にてソリストとし世界各地でも活躍。バレエアカデミーの留学コーディネーターを務める。日本バレエ協会主催東京本部「くるみ割り人形」では、ワガノワバレエ学校教師 コワリョワ氏、同バレエ協会札幌支部公演にて、ノボシビルスクバレエ団ディレクター クルボコ氏「白鳥の湖」「チャルダッシュ・ラブソフィー」の通訳兼ミストレスを務める。2006年ロシア ノボシビルスク市より国際交流感謝状を授与される。近年では、ロシア国内バレエコンクールの審査員を務める等、国内外問わず指導者として高い評価を受け、熊川哲也氏の率いるプロを目指す子供を育成するKバレエスクールにてキャラクター講師に就任。現在、Kバレエグループ講師。振付、舞台プロデュース等でも活躍。

講師のご紹介 instructor

郷路 泰子 *Yasuko Goro*

エクササイズ担当



札幌市出身。7歳よりバレエを習い始める。
ロンドン、ニューヨークへのバレエ留学で本格的にバレエ指導法を学び、豊富な知識と経験を生かして、ヤン・ヌイツのレッスン、指導者クラス、フランシス・ウエイツの解剖学講座で長年アシスタントとして活躍。1990年から3年間、英国ロイヤル・バレエ・スクール Teachers' Training Course で学び、すべての課程で優秀な成績を修め卒業。その後、ニューヨークのジョフリー・バレエ・スクールに2年間留学。1996年、アラン・ハードマン・スタジオ（ロンドン）にてボディ・コンディショニング（ピラティス）を学び、インストラクター資格を取得。1998年夏以降「エクササイズ・クラス」「ポアント・ベーシッククラス」担当講師としてもその知識と実力を発揮している。現在は東京都国分寺市においてバレエ・スタジオを主宰。後進の指導にあっている。

野田 香織 *Kaori Noda*

エクササイズ担当



1990年より3年間ロンドンの Royal Academy of Dance College に留学。実技全般に加え、解剖学・舞踊史・児童心理学・Notation等を学び、Licentiate of RAD及びAISTD(NB/MB)を取得。本バレエセミナーには、1999年12月から通訳として参加。この間エクササイズ・クラス講師としての勉強を重ね、2001年春以降、同クラスの講師を務め、2003年春のバレエセミナー以降、しばしば初級クラシック・レッスンを担当し、高い評価を得ている。

岩部 純子 *Sumiko Iwabu*

エクササイズ担当



4歳より井上バレエ学園にてバレエを習い始める。
10歳より岸辺光代に師事。1997年よりフランス・ボワチエ市の C.E.S.M.D Cefedem Danse (国立高等音楽学院ダンス科教職課程)にて解剖・生理学、舞踊史、児童心理学、教授法などを学び仏文化省公認クラシックバレエ教師資格を取得。公、私立のバレエ学校で臨時講師を務めた。2003年6月に帰国、自らも舞台に立ちながら岸辺バレエスタジオ、ユニークバレエシアターにて後進の指導にあっている。本バレエセミナーには第1回開催時より受講生として度々参加しヤン・ヌイツの指導を受けた。

六車 龍也 *Ryuya Mijuruma*

中級ジュニア・プレジュニア/解剖学講座担当



施術に訪れるダンサーから様々な悩みを聞くうちに、スポーツ選手とは異なるダンサーの身体の使い方、運動性に興味を抱き、バレエレッスンを体験。フランシス・ウエイツ、ヤン・ヌイツ指導によるダンサー治療のための「治療師コース」第1回に参加し、驚きと共感を得る。その後も「治療師コース」に毎回参加、また、本バレエセミナーの解剖学講座やアドバイス・タイムなどを頻りに見学し、ダンサー治療に対する理解をより深めていった。現在は「悩めるダンサーを少しでも救いたい」と多くのダンサーの施術にあっている。本バレエセミナーでは2002年12月から「解剖学」担当講師として受講生の人気を呼んでいる。

